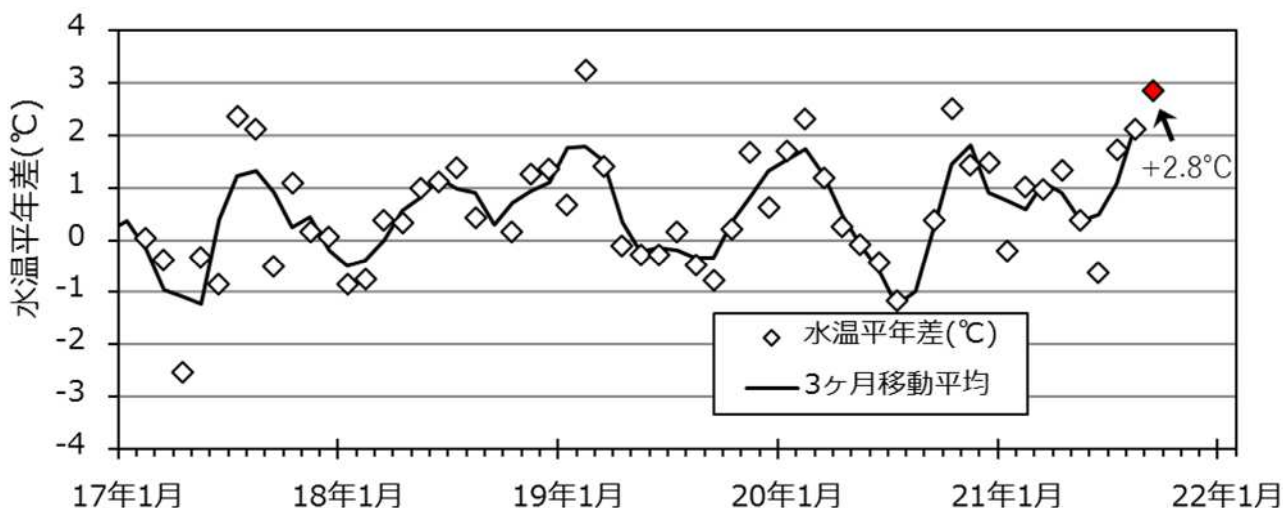


【水温の変動】

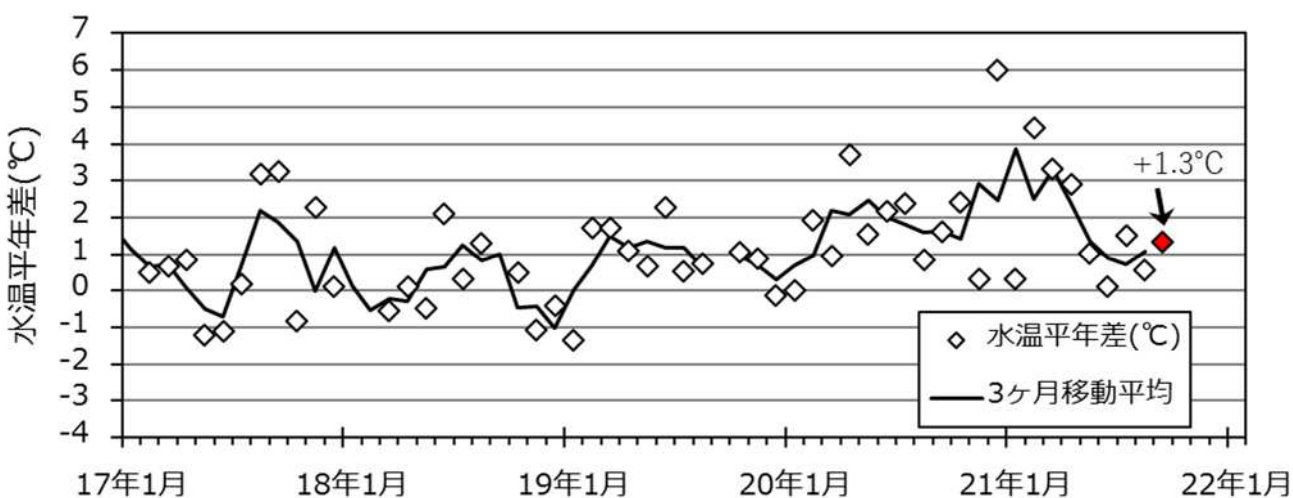
9月1、2日に、調査船海幸丸により渥美外海の観測を実施しました。湾口部では平年差+2.8°Cで極めて高め、沖合域では平年差+1.3°Cでやや高めでした。

9月1日の人工衛星画像によると、黒潮は遠州灘沖を北緯31度付近まで南下した後、八丈島の西側を通過して北東に進み、その後房総半島沖へ流れています。現在、石廊崎沖の黒潮から遠州灘沖への暖水波及はやや弱まっています。また、沿岸湧昇がみられず、湾口部の水温は高めとなっています。

湾口部表層（A1）における水温平年差の変動



沖合域水深 200m（A4, A12, A19 の平均）における水温平年差の変動



※9月のA12,A19は欠測

※水温平年差は過去10年平均値との差

【渥美外海の海況】

渥美外海の水温は、表層で 26.7~28.9°C、水深 100m で 16.2~17.7°C、水深 200m で 12.1~12.8°C となっていました。水温の鉛直断面図をみると、等温線に目立った傾きはなく、全体的に顕著な流れは弱い模様です。クロロフィル a 濃度は、湾口部から沿岸域 (A1) の水深 5m 付近が最も高く、中間域から沖合域にかけては、水深 50m 付近に極大層が見られました。また、沿岸湧昇はみられませんでした。

水温の水平分布図と水温, 塩分, 密度の鉛直断面図

